

## 前文について

条例の前文に盛り込みたいキーワードや気に入ったフレーズ、コンセプト

1 子どもに関すること	<p>・子どもの人権条約に基づいて、あなたの命と権利は、守られています。</p> <p>・子ども自身がつらいとき、しんどいときに、それを助けようとする大人がいることを知ってもらう。</p> <p>・すべての子ども一人ひとりが権利の主体であること</p> <p>(子どもの尊厳、権利の保障、差別の禁止)</p> <p>・子どもは、かけがいのない価値と尊厳を持っており、個性や他の者との違いが認められること(川崎市条例参照)</p> <p>・子どもは、それぞれ一人の人間として、いかなる差別もなくその尊厳と権利が尊重されます(世田谷区条例参照)。</p> <p>・あなたという人は、世界でただ一人しかいません。大切な、大切な存在です。</p> <p>・あなたのことは、あなたが選んで決めることができます。失敗しても、やり直せます。あなたが困った時には、助けを求めてみてください。私たちおとなは力になりたいと思っています。</p> <p>・私たちおとなはあなたの声に耳を傾けますあなたの立場に立って、あなたがあなたらしく生きていけるように、いっしょに考えていきたいと思っています。</p> <p>・助けを求めたおとなが力になってくれない時には、他にも力になりたいと願っているおとながいることを覚えていてください。色々な力や専門知識を持ったおとなが、あなたの力になれるように準備して待っています。</p> <p>・あなたは、ひとりではありません。</p> <p>・ひとりひとりの子ども</p> <p>・誰一人取り残さない</p> <p>・子どもが自分らしさを受容され、自分自身を認めることができる</p> <p>・子どもがありのままでいること</p> <p>・差別なく</p> <p>・子ども一人ひとりの違いが尊重される</p> <p>・子どもがあらゆる差別を受けない</p> <p>・自分の存在を大切にできる</p> <p>・自分の将来を信じることができる</p>	<p>○子どもが意見を表明し、尊重される権利</p> <p>・子どもの「思い」には、子どもなりに大切にしている理由があります。その思いを尊重してほしいということは、1人の人間として自然な感情です。</p> <p>・どんな時でも、子どもが安心して意見を表明し、その意見が尊重された結果を子どもが受け取れることが重要です。それは「大切な存在」として扱われたという、実感を伴った経験となり、自己肯定感を育むからです。</p> <p>・子どもの意見を聴取し検討する場を設置する</p> <p>・子どもも含む私たちの声が、社会を作っていきます。あなたの声を聞かせてください。</p> <p>・子どもの主体性を認めて、子どもがおとなとともに手を携えて社会に参画できる場を作ることは、子どもが社会を守るおとなに成長していくために必要な教育となります。</p> <p>・未来を託する子どもたちにとって、自分の選択で権利を行使することは、自ら考え、利他の精神を持ちつつ豊かな社会を創造するのに必要な力となります。</p> <p>・失敗から、学んでいく</p> <p>・失敗することの大切さ</p> <p>・社会の一員として成長に応じた責任を果たしていくことが求められます(世田谷区条例参照)。</p> <p>・社会における役割や責任を自覚し、自ら学んでいく姿勢を持つことが大切です(世田谷区条例参照)。</p> <p>・中野区であったいじめの事件を忘れないために「いじめられない権利(守られる権利)」を盛り込みたい。</p> <p>・不登校の子供にも等しく教育を受ける権利があるとわかってもらうために「子どもに合った学習・教育の場を保障する権利(個別の必要に応じて支援を受ける権利)」を盛り込みたい。</p>
-------------	---	---

2 大人に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちにも分かりやすく優しい表現で、世田谷区の前文のような「大人の責務表明」や西東京市の前文のような「大人の決意表明」も盛り込んでいけたらいいと思います。</li> <li>・子どもに対する差別をなくし、誤った思い込みを改め、お互いの権利を意識しながら、子どもとおとなの新しい信頼関係をつくるのが大切です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのおとなにも子ども時代があり、大切にしておしかったことがあります。おとな自身が子ども時代に尊重しておしかったことを、子どもの権利を守ることによって実現していくことができるのです。</li> <li>・おとなには、子どもを深い愛情のもとに健やかに育てる責任があります。そのために、おとなは、家庭、学校及び地域の中でお互いに手を携え、協力しながら、子どもの限らない力を信じて最善の努力をします。</li> </ul>
3 社会、地域に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が社会を創り、社会で人は生きていきます。</li> <li>・子どもとそれを取り巻く支援者を含め、子どもが生きるエネルギーを発揮させる事ができるように、見守っていける社会でありたいです。</li> <li>・子どもも含む私たちで、何が豊かなのかを考えていける社会を一緒に作っていきましょう。</li> <li>・見守れる社会</li> <li>・子どもを取り巻く社会全体の大人たちが、子どもの権利を知ること、困った子を街中で見かけたとき、公共の環境において、子どもの視点を意識し、見守り、相談することができるようになる。</li> <li>・社会全体で子どもの権利を守り、権利を守られて育まれた子どもが大人になり、今度は子どもの権利を守る側になる。そのようにして幸せに育つ子どもを中野区に増やしていくことが、社会全体の利益になる、そのことを確信し、そのための指針として子どもの権利を制定する</li> <li>・精神的に豊かな社会</li> <li>・子どもが尊重される社会を実現することは、だれもが尊重され、尊重しあえる社会を実現することにつながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人が尊重されるということは、他者も尊重しなければいけないとはっきりと伝えること。子どもも、おとなも、どの人も尊重されることが社会全体の幸せの源になります。</li> <li>・社会と人の相互関係</li> <li>・子どもは、おとなや子ども同士のかかわりあいの中から、お互いの権利の尊重、責任などを学び、権利を守ることの豊かさを理解していくのです。</li> <li>・自分が大切にしてほしいと願うことは、他者も同じように感じるということを知る。</li> <li>(社会の一員であることの自覚と責任)</li> <li>・子どもは大人とともに社会を構成するパートナーである。子どもは、現代の社会の一員として、また、未来の社会の担い手として、社会の在り方や形成にかかわる固有の役割があるとともに、そこに参加する権利がある(川崎市条例参照)</li> <li>・子どもと大人がパートナーであること</li> <li>・子どもを一区民として尊重する</li> <li>・子どもの意見を尊重するということは、子どもの要求の全てに応えるという意味ではありません。子どもの「思い」に基づいて、社会全体が実現する方法や手段を考え行動していくということ。例えば子どもの願いが叶わない結果となっても、おとなが誠実にサポートしたことは子どもにとっては「尊重された」経験となります。</li> </ul>
4 区に関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中野区が区の事業として何かを行う際、子どもの視点が入っているかを参照し、確認する</li> <li>・中野区は、それらを実効あるものにするために、安全・安心に暮らせる環境を整備し、この条例に定める子どもの権利保障の理念をあらゆる施策に反映させていきます。</li> <li>・中野区の施策すべてに子どもの意見を尊重し反映する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの権利を守る義務が国や行政機関などおとなにあること</li> <li>・子どもに関わる全ての社会的仕組みに包括的基盤として、子どもの人権を置きます。</li> <li>・心身の発達に伴ったホロー</li> </ul>
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命</li> <li>・生きる、命を育む</li> <li>・エネルギー</li> <li>・区は、子どもたちに約束します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたの命と権利は、守られている。</li> <li>・ゆとりある環境。</li> </ul>

※子どもの権利カタログワーキンググループ第3回打合せ時の宿題より作成